

第27回 留学生里親・里子だより

留学生さとおやの会事務局

〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラクレバス内 TEL: (06) 6910-8800
FAX: (06) 6910-8837 HPアドレス: <http://www.craypas.com/satooya/index.html>

2017年9月発行

平成29年度対面の会

—司会席から—

里子になる留学生とお世話する里親が初めて対面する対面の会ですが、今年度は6月24日(土)大阪商工会議所で14時から行われました。西村貞一代表幹事の挨拶で始まり、大阪商工会議所人材開発部部長鯉谷貴氏のご挨拶を頂き、対面へと進みました。ご多用の中を皆様にお集まりいただき、里親24家庭、里子41人の組み合わせが成り立ちました。各家庭で集まり歓談しましたが話が盛り上がったので、終了予定時間も気付かれなくらいでした。その後、大阪商工会議所のご厚意で近くの企業家ミュージアムに揃って見学をしました。



田仲八重子

どのような子と出会えるのだろうかという毎年の事でもわくわくする瞬間です。前もって頂く資料の写真は緊張して硬くなっているみたいですが会えば笑顔が先に出て、こちらも緊張が解けます。同じようにあの子たちも思っている事でしょう。ネットや携帯が進み、周りの人に頼らなくても自分たちで何でも情報を手に入れ行動していけるようになっていきます。時が流れてどんどん変わっていくもの、時が流れても変わらないもの、外国にいようと自国にいようと、社会人として世に出て行く一つ前の大切な時期に、また将来の進路を決める時に、迷いが出て不安になった時に、何でも吸収できる力があるこの時に、何かお手伝いできることがあればよいと考えています。この子達はどんな大人になってどんな仕事するのかと想像するのも楽しみの一つです。





さようなら、お元気で。

こんにちは。大阪大学交換留学生として韓国から来た金暎實(キムヨンシル)です。時間が弾丸みたいで私が日本に来てからほぼ1年になります。つまり韓国に帰る時になったということです。

1年という、長いと思えば長く、短く思えばあっという間だったと思います。初めて大阪に来た時を思い出します。私の

夢は先生です。学生と一緒に歩きながらともに学び成長する先生になりたいです。そのためには多くのことを経験して、感じて、学ばなければならないと思います。このような私の先生像を作る時、大きな影響を与えた人が作家の灰谷健次郎です。彼の本の中で多くのことを学びました。それで彼がいた大阪に来て様々なものを感じたいと思いました。

初めて日本の大阪に来て不慣れな言語、見知らぬ環境の中で緊張して震えました。また、生まれて初めてする自炊が海外って。ちょっと怖かったのが事実です。大阪大学で初めて田仲さんに会って、そのあと一緒に遠足に行ったり田仲さんの家にお邪魔したりしながらゆっくりと大阪に適応し始めました。緊張していたのも徐々に溶け出して周囲を見回すことができるようになりました。故国に対する郷愁と外国生活の中での寂しさを振り切りました。

田仲さんのおかげでいつも元気を貰いました。田仲さんの家で開かれるお隣の方と一緒にするパーティーは私にとって本当に楽しい席でした。多様な話を聞くことができ、色んな日本の文化を感じることもできました。また、ここも暖かくて情感のある人たちが生きていくところだと感じさせました。人によって、人それ

ぞれ自分の話を持っているところだと思いました。韓日関係という背景の中で私が持っていた思い込みが田仲さんと出会うことで、人対人の付き合いで多くの考えを持ち、思うようになりました。田仲さんはいつもやさしくしてくれますし、色んな話をしてくださって私が成長する上で大きな助けになりました。特にお父さんの教育に対する多様な話は私に、また別の観点として、教育とは何かと根本的な部分を考えさせました。

いつも気を使ってくれた田仲さんに感謝します。お母さん、お父さん、亮さん、実香さんいつもお世話になりました。ありがとうございます。いつでも金(キム)家にも遊びに来てください。いつでも大歓迎です。おかげで、大阪での私の思い出はいっぱいになりました。さとおやの会の皆さんに感謝いたします。高槻のお隣の皆さんに感謝いたします。留学生の皆さんに感謝いたします。機会があればまた大阪に来たいと思います。その時まで皆さんお元気であることを願います。さようなら。



留学生さとおやの会は今年で3年目になります。私は高校生の時に1年間の交換留学生としてアメリカに留学し、ホストファミリーと暮らした経験があったので、いつか恩返しをしたいと思っていました。同僚から里親のことを教えてもらったことがきっかけで、迷わず参加しました。

1年目はタイからの留学生でした。対面の会ではこちらがとても緊張しました。日本人の印象は私たちで左右されるんじゃないか?とか些細なことを心配していましたが、さとおやの会の方々の交流体験を参考にさせて頂けたので、肩の力を抜いて接することができました。タイ人留学生は1年弱で帰国しましたが、今でもメールで学校のことや就職のことを知らせてくれます。

2年目には中国からの留学生、ヨウキンブンさん通称ブンちゃん、今年にはベトナムからの留学生、チャン・バン・アインさんと交流

しています。二人とも会った瞬間から緊張が解けて、私たちと息子にも家族のように接してくれています。私たちも里子に会うのが楽しみなのですが、息子(5才)は年の離れた姉弟ができたかのように里子が大好きです。

二人とも、通学、勉強、アルバイトに励む毎日で、とても忙しい日々を送っています。とても勤勉です。特に、ブンちゃんは就職活動のための情報収集、セミナーや面接など、たくさん経験をされました。言葉も文化も違う日本で外国人が就職するのは容易ではなかったと思います。苦労もあったと思いますが、晴れて希望の企業に採用になりました。私たちも安堵で胸を撫でおろしました。就職活動中には一緒にランチをして気分転換してもらったり、食べながら相談したりもしました。ほんとに良かったです。来年からは社会人ですね。

アインさんは4月に来日したばかりですが、すでにボランティアや国際交流などに積極的に参加していて、勢いを感じます。ゆっくりと私たちとの時間を共有してもらえたら嬉しいです。今秋は家族の趣味でもあるキャンプに二人を連れて行こうと計画を立てています。

里親としてはまだまだ板についていませんが、日本の文化に触れてみたり、ごくごく普通の生活を共に過ごして、良いところ、悪いところもあるかもしれませんが、交流を重ねていきたいと思います。



小さい幸せ

里子：楊 欽雯（中国）

来日して5年。中国の出身の私は、旧正月や中秋節など家族が集まる伝統的な祝日には帰国する時間がなく、家族に一度も会えなかった。このような状況下で、私は里親里子会を通して、橋本ファミリーに出会った。そしてそこから、私の温かいハッピーライフが始まった。

●「はじめてではない」あの子・・・七海君

七海君は橋本家の天使だ。初めて会った時、その天使は典子さんの手を握りながら、やや照れて笑っていた。その姿はとても可愛かった。そして、兄弟がいない私は緊張のあまりに、どうやってこの幼い弟と仲良くできるか悩んでいたところ、七海君はすでに私の後ろに来ていて、自然と鬼ごっこが始まった。会ったのは1日目なのに、七海君はご飯の時に「ブンちゃんと一緒に座りたい」と言って隣に来てくれた。ご飯の時間は、七海君の好きな恐竜の名前を教えてくれたり、美味しい食べ物を私に譲ってくれたりして、嬉しかった。この二人の姿を見てまるでずっと前からの知り合いのようだと橋本ご夫妻は言った。

●初めての浴衣での花火大会



日本の夏というと、やはり花火大会だ。花火大会というと、家族の役割分担が重要だと思う。席取り役の直樹お父さんは早々と出かけ、典子お母さんはお弁当を用意してくれた。七海君は私の隣で遊んでくれて、元気をたくさん注い

てくれた。そして、嬉しいことに、典子さんはわざわざ私の浴衣を用意してくれたのだ。典子さんと一緒に浴衣を着ようとした時、鏡の効果で、時々逆になって次の着方がわからなくなって、笑いながら着直していた...

これらの家族と一緒にいれば得られ日常や行事も、私にとって

大切な思い出だ。このような小さい幸せは求めようとしても求められないものだ。留学生活は橋本家と出会った時から寂しくなくなった。典子さんは初めて会った日、私に「私たちは家族だよ」と言ってくれた。うん、優しく暖かい家族だ。

それから、典子さんをはじめとする橋本家のみなさんのおかげで、日本の家庭生活、家族行事が少しずつ分かってきた。文化交流だけでなく、困った時の相談や就職活動のアドバイスなど、色々と助けてもらった。感謝していることはここに書ききれないほどたくさんある。でも、ここでこの一言は言いたい...もうホームシックなんてしていないよ。ありがとう!

里子：チャン・バン・アイン（ベトナム）

一期一会、私にとって直樹さんと典子さんと七海君に会えて御縁だと思います。まだ短い時間しか過ごしていませんが、私達には色々な記念があります。皆で一緒に和食を食べたり、天神祭りの花火を見に行ったり、子供と遊んだり、浴衣を着て夏祭りへ行ったりしました。初めて日本へ来てから本当に楽しかったと感じた。和食はメッチャ美味しかったし、浴衣も綺麗だったし、七海君はメッチャ可愛いと思います。いつもお世話になりまして、お母さんとお父さん本当にありがとうございます。



2017年の里子・里親の親交はテニスから



昨年(2016年)に「留学生さんとおやの会」に入会し、初めて里子と対面しました。これから一年間どのように付き合っていけばいいのか、全くの手探り状況の中、自分の里子に、まずは「今、日本で何をしたいのか?」とその望みを聞いてみました。

私の里子ヨーインウンちゃんは、中国・貴州省の少数民族の出身ですが、その際

1. 中国・貴州省とその地方の特産品であるマオタイ酒のPRをしたい
2. 日本語がもっとうまくなりたい、日本の文化をもっと知りたい
3. 日本での就職の機会を見つけない
4. 運動がしたい などと語ってくれました。

そこで最初に、私の職場で主催するイベントに参加してもらい、貴州省の観光PRとマオタイ酒の試飲・PRをすることにしました。里子のヨーちゃんが企画し、日本語のプレゼン資料をパワーポイントで作るとともに読み原稿も作成。それを私が推敲し、お手伝いするという形で進め、マオタイ酒も一緒に探し回り、買い求めました。イベント当日は15~6名の聴衆の前で立派に、日本語でプレゼンテーションを行い、貴州省とマオタイ酒の売り込みに成功したことを喜んでいるようでした。文化方面では、能・狂言を鑑賞してもらったり、年賀状用の漢字一文字を書く書道体験もしてもらいました。

又、自宅に招いた際には、近場でコートを予約し、晩ごはん前に家族が揃って、一緒になってテニスで汗を流しました。今年も里子2名を引き受けましたが、やはり運動をする機会が少ないの

ではないかと思い、他の留学生も誘った上で、「テニスの練習会」と「懇親会」を企画し、夏真っ盛りの8月11日に里子と自身の子供2名を含めた総勢13名が集まり、テニスと食事と英語・日本語チャンポンのおしゃべりを楽しみました。

夏も終わろうとする時期に、まだまだ手探り状態が続いていますが、里子と接する機会をもっと創りだし、里親・里子の絆を深めていければ…と考えているところです。

里子：高文超（中国）

先週の金曜日、里親と一緒にテニスを練習しました。私は初心者なので、簡単な練習の後、ゲームをしました。暑かったですけれど、みんなはとても楽しんで遊びました。その後、懇親会が開催されました。皆さん晩ごはんを食べて自由に喋りました。そしてみんなは私に日本の文化、食べ物についていろいろ教えてくれて、本当に良い一日と思っています。

こんな素晴らしいイベント、こんな優しい里親のお陰で、日本で私はいつもうれしいです。



大阪外国人雇用サービスセンター

大阪外国人雇用サービスセンターは、外国人留学生や仕事を探している外国人の方と外国人雇用を考えている企業を支援する、厚生労働省の機関(ハローワーク)です。

職業相談・職業紹介

履歴書・エントリーシート添削、面接シミュレーション、自己分析等、就職活動における各種相談、ハローワーク求人への応募ができます。

全国のハローワーク求人を探す

ハローワークに設置している専用のパソコンで、全国のハローワーク求人を検索できます。

留学生就職ガイダンス

留学生が就職活動をする上で一番留意しないといけない在留資格の説明や、日本における就職活動の説明・先輩留学生による成功体験などを知ることができます。また、座談会では就職活動の情報交換もできます。

留学生対象面接会・説明会

年に数回、留学生(既卒者等含む)を対象にした面接会や説明会を実施。毎年多くの留学生が参加しています。

留学生ビジネス・インターンシップ

春休み・夏休みの時期にビジネス・インターンシップ(就業体験)を実施。日本の企業を知る良いきっかけになります。

留学生アルバイト情報

大阪外国人雇用サービスセンターサイトで、留学生が応募できるアルバイト情報を閲覧できます。応募ご希望の場合は、窓口までお越しください。

所在地・ご利用時間



大阪外国人雇用サービスセンター
〒530-0017 大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル 16階
TEL 06-7709-7465 FAX 06-7709-7468
http://osaka-foreigner.jsite.mhlw.go.jp

【ご利用時間】
月～金曜日 10:00～18:00 土日祝・年末年始閉庁

編集後記

今年の対面の会も無事終了しました。41名の留学生を受け入れることができました。里親の皆様ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。組み合わせをドキドキ待ち受けている里親さん、留学生の皆さんなのですが、会った瞬間からそのご家庭びったりの家族に落ち着いてしまっている。いつも対面の会でびっくりする事の一つです。是非お知り合いの方でご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたらご紹介いただけますようよろしくお願いいたします。

今号では比較的新しい里親さんに原稿をお願いしました。皆さん夫々に楽しく交流をされていることに、とっても嬉しくなりました。留学生の方々にとっても日本での生活が、より充実した毎日となっているようです。是非、日々のあんなことこんなことを会報誌に投稿ください。

今年も遠足、新年交流会と計画しています。是非揃ってご参加いただき、皆様にお目にかかれましてを楽しみにしています。

(事務局)